

# 要 望 書

平成20年6月4日

印西市・白井市・印旛村・本埜村

## 北総線の運賃に関する要望書

### 【 内 容 】

計画人口15万人の千葉ニュータウンと都心を結ぶ唯一の交通機関である北総線は、千葉ニュータウン地域の住民の多くが通勤・通学等で利用していますが、他の鉄道線と比較し、運賃は2倍から3倍と高額になっています。また、定期券の割引率も低いため、通学定期では4倍程度高額となり、通勤・通学代で家計が圧迫されるなど市民生活に大きな影響をきたし、地域の重要な課題となっております。

北総線の高運賃問題については、これまで、沿線の印西市、白井市、印旛村、本埜村により北総鉄道株式会社や京成電鉄株式会社に対し、運賃値下げ等の要望活動をしておりますが、会社側からは、北総鉄道の施設整備に要した費用の返済等のため厳しい経営状況にある等の理由で、運賃値下げについて期待できる回答はいただいております。

このような中で、都心と成田空港の鉄道アクセス及び千葉県北西部等の交通利便性の向上を図るため、北総線を延伸し、平成22年4月開通を目指し進められている成田新高速鉄道整備事業について、沿線の自治体では、国や千葉県とともに補助及び出資を行うなど事業推進に協力しているところであります。

沿線住民は、成田新高速鉄道の開通が、利便性向上や地域振興等とともに、北総線運賃の値下げにつながる好機として大変期待しています。

しかしながら、一方では、今後、成田新高速鉄道の運賃認可手続

き等の際、北総線区間はこれまでと同じ高額な運賃が維持され、成田空港を利用する者には安価な運賃となる不公平な運賃とならないか懸念もしております。

また、成田新高速鉄道は、北総鉄道の線路も使用し運行されるため京成電鉄から北総鉄道に線路使用料が支払われることとなっております。北総鉄道は、これまでの施設整備費とそれに伴う多額の負債の返済が会社経営が厳しい要因のひとつになっており、京成電鉄から適正な線路使用料を徴収する必要があると考えております。

こうした実情をご賢察のうえ、北総線の運賃値下げ等が図られるよう、次のとおり要望いたします。

## 【 要 旨 】

1. 成田新高速鉄道の運賃設定に際しては、北総線の運賃が引き下げられ、北総線沿線利用者が成田空港利用者に不公平感をもたない運賃設定になるよう鉄道事業者にご指導していただきたい。
2. 北総線の鉄道施設の使用料については、過去の設備投資に見合った適正な線路使用料が支払われるよう鉄道事業者にご指導していただきたい。
3. 成田新高速鉄道の運賃や線路使用料の認可にあたっては、透明性を確保し、公聴会等において沿線自治体が意見を述べることができるようにしていただきたい。
4. 北総鉄道株式会社への公的支援等各種施策により北総線の運賃を他の鉄道運賃と同程度の水準まで引き下げていただきたい。

平成20年6月4日

国土交通大臣 冬柴 鐵三 様

千葉県 印 西 市 長 山崎 山洋

白 井 市 長 中村 教彰

印 旛 村 長 佐藤 榮一

本 埜 村 長 小川 利彦

印西市議会議長 出山 國雄

白井市議会議長 石田 信昭

印旛村議会議長 小川 勇

本埜村議会議長 大塚 輝男